

**製品名: アルファフォドリン (15V11) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06793**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	285kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SPTAN1
別名	Alpha II Spectrin; EIEE5; Fodrin alpha chain; NEAS; SPECA; Spectrin; Spna2; SPTAN1;
遺伝子 ID	6709.0
SwissProt ID	Q13813
免疫原	ヒトアルファフォドリンの合成ペプチド

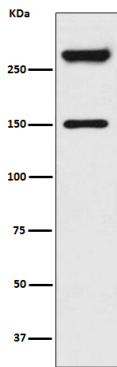
**背景**

フォドリン（非赤血球系スペクトリンとも呼ばれる）は、普遍的に発現する膜結合型細胞骨格タンパク質であり、 $\alpha$ サブユニットと $\beta$ サブユニットから構成されています（1）。このタンパク質は、正常な膜構造の維持と細胞表面タンパク質の機能維持に重要です（1）。 $\alpha$ -フォドリンは、アポトーシスにおいてカスパーゼによって切断される主要な標的の一つです。分泌に関与していると考えられるフォドリンは、カルシウム依存的にカルモジュリンと相互作用するため、膜における細胞骨格のカルシウム依存的な移動に関与すると考えられます。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



カンプトテシン処理した HeLa 細胞溶解物におけるアルファフォドリン発現のウェスタンブロット分析。